

第1学年 技術・家庭科(家庭分野)単元指導計画
題材名「生活を豊かにするための布を用いた制作」

1. 題材の目標

- (1)衣服の計画的な活用の必要性や製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2)生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3)よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実現しようとする。

2. 指導計画(全12時間扱い)

【第1～4時】ポケットティッシュカバーの製作

- 1)基礎的な制作の手順を知る。
- 2)手縫いによる基礎縫い(まつり縫い、なみ縫い、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫い)をできるようにする。＜指導の個別化・協働的な学び＞

【第5～12時】ファイルカバーの製作

- 1)ミシンの安全な使用方法を知る。
- 2)自身で目標を設定し、製作方法を選択する。＜指導の個別化・学習の個性化・協働的な学び＞

3. 題材における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

＜指導の個別化＞

①動画②写真③教員、班員に聞く、の3つの方法を提示し、自分に合っている学習方法を選択できるようにする。

＜学習の個性化＞

各自で計画を立てさせ、その計画にあった方法で縫い方を自分で選択させる。

協働的な学び

＜協働的な学び＞

ICT端末の活用や、話し合い活動を通して、よりよい改善方法を見つけられるようにする。

4. 個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICT端末の活用

- ・教科書QRコード読み取り
- ・参考映像の閲覧

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」指導略案

家庭科

指導者 山口知夏

クラス 1年3組

1. 題材名 「生活を豊かにするための布を用いた製作」

2. 授業のねらい

○よりよい作品をつくるために、個人で決めた目標に合わせた製作をする。

3. 指導過程

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
【導入】 ・前回の製作進度を振り返って、事前に立てた計画(自分で選んだ縫い方にそって縫えているか等)の調整が必要であれば、見直す。	・計画を見直す必要があれば、調整するように声をかける。	
【展開】 ・個人で立てた計画に合わせて製作を進めていく。 ・縫い方やミシンの使用方法で不明点があれば、3つの手だて(①手縫いの基礎(冊子) ②動画資料 ③友達・先生に相談する)から選択して作業を進める。	・教室を回り、やり方がわからず困っている生徒がいれば、実際に縫い方を手元で見せる。 ・針を机上に置いたままの生徒には、安全面から針刺し(針山)を使用するように指導する。	・指導の個別化
【まとめ】 ・授業内にできたこと、進度の調整、計画的に取り組むことができたか、難しかったこと等について振り返りシートに記入する。	・机間指導の際に、振り返りが記入できていない生徒には助言する。	

※どの場面で、どのアプリケーションを利用するのかが分かるように記述してください。

4. 参考資料(使うアプリケーションや画面等)等
 プレゼンテーションソフトウェア(Googleスライド)